

カナヘビ 家族の誕生!!

天草市立本渡南小学校
3年 橋本 兎虎

けんきゅうのどうき

去年の夏休みからカナヘビを飼い始め、飼育にひつようなエサのことや、体の仕組みなどを調べた。また、さんらんとふ化もかんさつすることが出来たので、けんきゅうすることにした。

けんきゅうの内容

- (1)カナヘビのイ体や生活について
イ体の仕組み、オスとメスのちがい、世話の仕方やひつようなことを調べる。エサのしゅいやりょうなど気づいたことをかんさつする。
- (2)秋から冬までのカナヘビの生活について
どのように冬眠させるか調べる。
- (3)たまごについて
どのようにふ化するのか。
オスとメスを同じケースに入れ、交尾をさせて、さんらんを待つ。
カナヘビのオタマゴをかんさつする。
さんらんしたたまごがふ化するまでの世話の仕方を調べ、大きさなどをかんさつする。
- (4)生まれた赤ちゃんカナヘビについて
体の大きさ、エサのしゅいやりょうなどをかんさつする。



けんきゅうの結果

- (1)カナヘビのイ体や生活について
ア イ体の仕組み



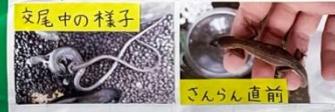
イ 体の仕組み
イ体は細く、豆は平たくて三角形をしている。しっぽは長く、イ体の2倍ほどある。へびではないが、へびのように舌の先がわれているため、舌の先にへびがついたと言われている。丸まてわる。フンと尿は一緒に出す。鳥のフンに似ている。指は5本ずつあり、足の薬指が特に長い。

ウ 世話の仕方、エサについて
* 水の取りかえ... 2日に1回程度 * フンのそじ... 1~2日に1回 * 日光浴をする。
* 部屋のそじ... 月1~2回 * エサ... ツクモ、コオロギを1~3日に1、2回
* 適温は、23℃~29℃程度と言われている。

イ オスとメスの違い
しっぽの付け根のふくらみが違う。
オス... 付け根付近がふくらんでいる。おなかは白色だった。
メス... 付け根付近がスラッと細い。おなかは黄色だった。

- (2)秋から冬までのカナヘビの生活について(冬眠)
ヤシガラマットを水でふかし、ケースの半分くらい。その上にインテリアパークをしく。11月~3月まで冬眠した。

- (3)たまごについて... どのようにふ化するのか。
ア 交尾とさんらん



オスとメスを同じケースで飼育していたので、ぐせん交尾を見ることができた。発見した時はけんかしていると思て、調べて交尾だった。10分後にはそのままだよか30分後にははなれてきた。
交尾 1/4 → さんらん (3/4) % 交尾 1/2 → さんらん (2/2) %



イ たまごの様子
親が食べてしまうことがあるので、別のケースにうつす。上下をひっくり返すとふ化しないことがあるので、たまごを見つけたらすぐにししをつけて、変革しないように気をつける。さらに、水をあたえ、水こけかしているが毎日かよにんした。ふ化直前には、夜にライトを当てると、たまごに赤ちゃんのシルエットがうつる。

ウ ふ化の様子
5つのうち2つがふ化した。ふ化まで30日かかった。口でたまごをむいて、われ目ができ、中のえきがこぼれた。たまごの大きさが半分くらいになる。その後、豆頭が出てくる。ふ化後たまごのかわさかるとわがわがした。

- (4)生まれた赤ちゃんカナヘビについて



生後10日の赤ちゃんは、全長7mm。生後2日目からエサを食べた。エサは、クモや人コ飼料(材ノドライ)を水でふやかして、1日2~3回食べる。おぼれないように水入れの大きさには注意かひつよう。赤ちゃんはべつべつのケースで飼う。日光浴をさせないと体温が低くなりエサを食べなくなってしまう。

けんきゅうのまとめ

このけんきゅうをして、小さなたまごの中でしゅかりと赤ちゃんがそだっているすかたを見れたこと、その赤ちゃんがふ化にうまれてきてくれたこととても感重かしました。エサのじゅんひやそじは大変だ。たけど、このけんきゅうをして良かったです。親カナヘビのように赤ちゃんカナヘビも大事に育てていきたいと思ひます。